

反歌二首 はんか

一〇六六番

まそ鏡 かがみ 敏馬の浦は みぬめ 百舟の ももふね 過ぎて行くべき す  
浜 はま ならなくに

一〇六七番

浜清み はまさきよ 浦うるはしみ うら 神代より かみよ 千舟の泊つる ちふね  
大和太の浜 おほわた はま